



待望! アマチュア人形劇団ひつまぶし 3年ぶりの新作発表

人形劇団ひつまぶしは、愛知県下のアマチュア人形劇団などに所属するメンバーが集まり、合同で人形劇づくりと上演を行っている劇団です。2019年、愛知人形劇センターと人形劇場ひまわりホール30周年を記念して結成。その後のコロナ禍もリモート会議などを活用しながら2022年度に2作品目をつくり、今回は3年ぶり、3作品目の新作『ぼくにもやらせて!』お披露目となりました。初演当日はひまわりホールが満席になる盛況ぶり。以前一緒に活動した人形劇団桜でんぶ(現・神奈川県)にも友情出演していただきました。まだまだ十分な仕上がりにありません、これからしっかりと作品に仕上げていきます。今後もアマチュアメンバーの交流を深めつつ、愛知の人形劇界を盛り上げていきますのでご期待ください。一緒に活動するメンバーも随時募集中。経験などは問いません。

愛知県下アマチュア人形劇団・合同制作

人形劇団ひつまぶし

2025年度新作『ぼくにもやらせて!』初演

脚本・演出・音楽・美術案：たかはしいちげん(人形劇団わたくも)

2025年7月13日(日)
損保ジャパン人形劇場
ひまわりホール

友情出演

人形劇団桜でんぶ
『ためぎのおんがえし』



人形劇団ひつまぶし これまでの作品



2019年度作品『みつけたみつけた海の中』



2022年度作品『うたのすきなりゅう』

これまでの主な上演先(2019~2024年)

- ひまわりホール子どもアートフェスティバル
- いいだ人形劇フェスタ(長野県飯田市)
- 横浜人形の家・新春人形劇まつり(神奈川県横浜市)
- 枚方人形劇フェスティバル(大阪府枚方市)
- 国民文化祭・清流の国ぎふ文化祭(岐阜県輪之内町)

緊急告知!

ヨーロッパ最先端アーティストによる オブジェクトシアターワークショップ開催



詳しくは愛知人形劇センター公式サイトをチェック!
<https://aichi-puppet.net/>

10/12 SUN

HANDA GOTE Tomas Prochazka

ハンダゴテ トマーシュ・プロハースカ レクチャー

チェコ・プラハのオルタナティブシアターのパイオニア・HANDA GOTEのトマーシュ・プロハースカを迎え、オブジェクトシアターのクリエーションやチェコの現在までの人形劇の歴史などレクチャーします。

10/26 SUN

Ariel Doron

アリエル・ドロ ンワークショップ

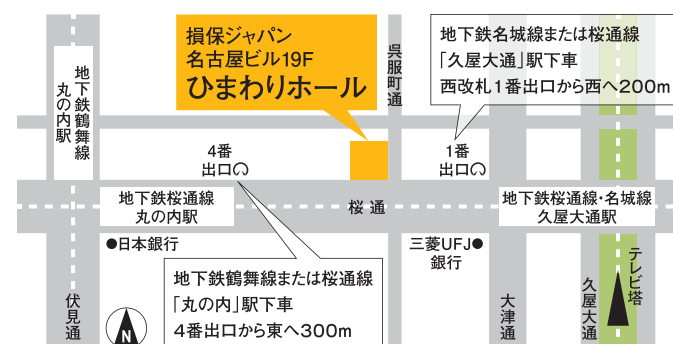
『Plastic Heroes』『Boxed』などで日本でも話題となった現代オブジェクトシアターを代表する一人・アリエル・ドロンのワークショップです。

Report

愛知人形劇センター通常総会終了のご報告



去る5月12日に、定款第5章第24条に則り、特定非営利活動法人愛知人形劇センター通常総会が開催されました。定数56団体個人に対して実出席14、委任状30の計44団体個人による出席で、高橋一元理事長の開会宣言に始まり、伊藤進議長を選出後、2024年度の事業報告・決算報告、2025年度の事業計画・予算と順調に議事が進行し、各議案が満場一致にて採択されました。今年度以降、ひまわりホール及び愛知人形劇センター事務所のある損保ジャパン名古屋ビルの大規模なリスタッキング工事が始まります。2029年にはひまわりホール・愛知人形劇センターが40周年を迎えます。ビルのリニューアルも含め、愛知人形劇センターの新しい未来を検討していく時期に差し掛かっています。



特定非営利活動法人

愛知人形劇センター

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン名古屋ビル8F

TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309

<https://aichi-puppet.net/> MAIL: mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター
ひまわりホール情報誌

あぶ

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

通巻329 2025年夏号
発行：特定非営利活動法人 愛知人形劇センター
発行人：高橋一元
編集人：中康彦
デザイン：江利山浩二(KINGS ROAD)
編集：小島祐未子(常磐の編集会)

Aichi
Puppetry
Center
あぶ

ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌



人形劇団ひつまぶし『ぼくにもやらせて!』(脚本・演出・音楽・美術案：たかはしいちげん)

アマチュアが
集まって
自由に
楽しむ!!

Yamamoto
Koyu



エスプリもペーソスもはらんだ 唯一無二のバントマイム

バントマイムの鬼才、山本光洋がやってくる！
一体どこからどこまでがバントマイム!?
日常の一コマの切り抜きから、こんな人いる
よねという描写、はたまたこんな表現が人間の
身体で出来てしまうのか、という事まで劇
場という空間に身体一つで挑む山本光洋。
こんなにも笑えるのに、動きの美しさやしな
やかさにもハッとさせる。端々に懐かしさも感じ
る。光洋作品の醍醐味は生きる上での滑稽

さが美しく可笑しくも哀しくも感じさせてく
れること。気づけば子どもでも大笑い、いやい
や大人だって大笑い。バントマイムの可能
性は無限大なのだ。間近で観られる光洋
ワールドをぜひ肌で感じてください。笑って
染みる2DAYS! これは絶対見逃したくない
ぞ! 今年の夏も暑い! そして特別企画、1日
限りのワークショップも開催します。定員に
限りがあるのでこちらもご予約はお早めに!

山本光洋 マイムライブ エンドレスサマーベスト

作・演出・出演：山本光洋

2025年9月2日(火)・3日(水) 19:00

損保ジャパン人形劇場ひまわりホール

前売3,000円 当日3,500円 ※全席自由・3歳以上有料。
協力：ラストラードカンパニー

特別企画

山本光洋 バントマイム ワークショップ

2025年9月1日(月) 19:00～21:00

損保ジャパン人形劇場ひまわりホール

定員：20名 ※定員になり次第締切

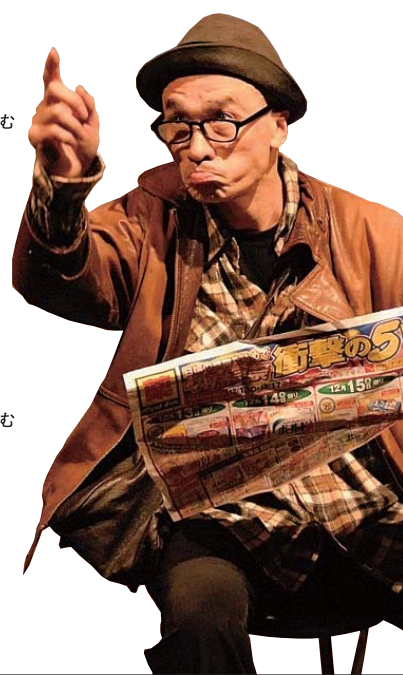
受講料：3,500円 対象：高校生以上・経験不問



スマホ▶QRコードを読み込む



スマホ▶QRコードを読み込む



INFORMATION

今年度もやります! P新人賞NEXT2025募集中

大好評のP新人賞NEXT。今年度も文化庁の助成を受けて開催します。

★人形劇のアドバイザーと共に新たな作品を創造!

★上演団体2団体選考(上演料として1団体12万円進呈)!

★ひまわりホールでのレジデンス稽古最大7日間!

舞台芸術の第一戦で活躍するアドバイザー陣と
試行錯誤しながら、ひまわりホールで作品創造に
挑みます。あなたの団体も“P”の新たな地平を
覗いてみませんか?

P新人賞NEXTの「P」は【puppet(パペット)】
【performance(パフォーマンス)】の頭文字

応募資格

- ・人形劇やオブジェ+身体表現を使った斬新な作品
- ・上演時間は45分以内
- ・年齢、経験、拠点、国籍、アマ・プロは問わず
- ・個人制作・団体制作ともに可能
- ・上演作品の著作権は団体側で処理をお願いします。
- ・2026年2月13日(金)～15日(日)の場当たり・上演会、
および提示のスケジュールに合わせて活動が可能なこと。
- ・ひまわりホールの劇場条件をご確認の上、実施可能な内容で
ご応募ください
(詳細は愛知人形劇センターHP内「ひまわりホール」を参照)。

第一次選考応募内容

- ・団体名
- ・作品名
- ・団体所在地
- ・スタッフ名・出演者名(決定している範囲で)
- ・参加人数
- ・過去の上演実績(団体または上演作品の主となる人の主な実績)
- ・参考となる動画URL(今回の応募作品または過去の上演動画など) ※必須
- ・企画・作品概要(1000字以内)
- ・応募動機(本企画・アドバイザーに期待することなど)(500字以内)
- ・補助資料(作品企画書・台本・舞台図面などあれば)
- ・二次面談可能日程(10月9日(木)または10日(金)の夜間)
- ・レジデンス稽古希望日程
- ・担当者氏名
- ・連絡先(電話番号・メールアドレス)

応募方法：QRコードの応募フォームよりご応募ください。

応募フォームが開けない場合は必要事項をメールにてお送りください。

MAIL: mail@aichi-puppet.net

締切：2025年8月31日(日)



スマホ▶QRコードを読み込む



昨年度のP新人賞NEXT2024の様子
劇団野らぼう(72歳人形)より



昨年度のP新人賞NEXT2024の様子
角谷得根(ゼロコ)「まるめた紙」より



昨年度のP新人賞NEXT2024のクロストークの様子

世界で話題の “パペットスラム”が 愛知初開催

ニューヨーク発祥の短編人形劇上演ナイト「パペ
ットスラム」を初開催! 「パペットスラム」とは、アメリカ
全土で開催されている短編人形劇連続上演のフォー
マット。子どもアートフェスティバル前夜に、10分程度
の実験的な人形劇を次々と上演し、合間をMCの人形
たちがつなぐというパペットSHOWを開催します。何が
出るかは、これからのお楽しみ! 多くの方々のご来場を
お待ちしております。

PUPPET SLAM in AICHI

2025年10月11日(土) 18:00

損保ジャパン人形劇場ひまわりホール

料金：2,200円

MC：Puppet Theater ゆめみトランク

協力：下北沢国際人形劇祭

赤ちゃんから大人まで みんなで一緒にアート体験

「子どもが主役!」をモットーに、子どもたちが
参加し、創り、体験できる「ひまわりホール子
どもアートフェスティバル」が、この秋も開催。
ひまわりホールと損保ジャパン名古屋ビル会
議室を使い、2日間でプロ・アマの人形劇団
が一斉競演します。体験型のステー

ジヤワークショップもあって一日中
楽しめます。昨年に続き、赤ちゃんファミリー
応援企画としてベビーシアターと幼児向け
作品を同じ時間帯に上演して、赤ちゃんもお
兄ちゃんお姉ちゃんも一緒に楽しめるような
空間作りも行います。アートと触れ合う2日
間、みなさまのご来場をお待ちしています!



ひまわりホール 子どもアートフェスティバル2025

2025年10月12日(日)～13日(月・祝) 10:00スタート

損保ジャパン名古屋ビル

1DAYバスポート1,000円 2DAYバスポート1,500円 ※3歳以上有料

※1DAYバスポートは、いずれか1日のプログラムに入退場自由で参加可能。

▼チケット予約

愛知人形劇センター予約フォーム

https://aichi-puppet.net/ask_reserve/ticket_reservation/artfes2025/



スマホ▶QRコードを読み込む

